2023(令和5)年度埼玉県・オハイオ州スカラシップ 〈語学・大学留学コース〉3月レポート "春の足音、文化の祭典"

2023(令和5)年度奨学生 河原塚 咲

みなさん、こんにちは。

あっという間に3月のレポートを書く時期になりました。サマータイムに突入したことで、20時すぎまで空が明るいと感じる日が多くなってきました。キャンパス内でリスを見かける頻度も増え、フィンドレーにも春が近づいている気配がします。

今回のレポートでは、初旬にあったビッグイベント、初めて体験したハリケーン、そして Easter break について紹介します。

CONTENTS

- 1. International Night について
- 2.トルネード到来!眼鏡紛失!
- 3. Easter break について

1. International Night について

3月初旬に、留学生が主体となって出身国の料理を振舞ったり、舞台でパフォーマンスをしたりする International Night というイベントが開催されました。結果として、この1日は私にとってかけがえのない



チームジャパン はっぴを着て踊りました! 大切な時間になりました。まず、料理のブースでは焼きおにぎり、お味噌汁、みたらし団子そして緑茶を提供しました。想定される来場者は2000人ということで、およそ10人の日本人留学生たちと朝から手分けし、連絡を取り合い、授業の合間に急いで準備をしました。日本のブースは列ができるほど盛況になり、お客さんの喜ぶ顔をすぐ近くで見ることができとても嬉しかったです。

この料理ブースと並行して行われていたのが舞台でのパフォーマンスです。ベトナム出身の友人たちは歌を、インドからの友人はダンスを…そして私たち日本人チームは YOASOBI の「アイドル」にのせてヲタ芸を、他に私は数人の日本人と韓国、台湾出身の友人とバンドパフォーマンスをしました。前者は持っているペンライトの光が映えるようにと会場をほぼ真っ暗にして行ったため、お客さんの反応が見られ

ずに不安でしたが最後に歓声が聞こえたときはほっと安心しました。後者は、フィンドレ―大学に来てから始めたギターが思わぬ形で役に立ったこと、バンドとしてイベント当日がベストパフォーマンスだったことでとても達成感がありました。およそ 1 ヶ月前のリハーサル時から、もっと良いパフォーマンスができるようアドバイ

スをしてくださった方々を含め大学関係者の皆様、一緒にイベントを作り上げることができた仲間たちに改め て感謝したいと思います。



なんとヲタ芸はパフォーマンスのトリを 飾りました!



ベトナムブースで手に入れた 絶品フォーです



韓国語、中国語(マンダリン)、日本語そして 英語で 3 人のシンガーたちが 歌ってくれました!



ジャパンブースで 料理を提供する様子です

2.トルネード到来!眼鏡紛失!

友人たちとカフェテリアで平和に夕食を楽しんでいたところ、トル ネード警報が発令されたということで安全な場所へ避難するよう

にとの指示がありました。幸い、友人が電話で地下室のある家へ招待(?)してくれ、安全に過ごすことができました。少なくとも私は、自然災害で自宅以外の場所へ避難するという経験がなかったためとても新鮮でした。翌日以降に尋ねてみると、トルネードが来た際には地下室か丈夫な建物の1階に避難している人が多数いました。結局合計で2度警報は発令され、避難の最中になぜか私はかけていた眼鏡を紛失しました。アメリカで眼鏡をつくると高額なので日本から送ってもらいましたが、同じく留学中の友人は普段かけている眼鏡の他に、3 つほど出身国でつくったものを所持しているとのことでした。3つは多すぎるような気がしますが、不測の

事態に備えて、眼鏡ユーザーは複数個持ちをおすすめします。

3. Easter break について

イエス・キリストが復活したとされる日を含めて 4 日間ほど、大学が Easter break になりました。その当日 に、11 月の Thanksgiving でお世話になったご家族に再びお家に招待していただき、一緒に食事を楽しむ ことができました。前回同様、全ての料理が手作り、とても手が込んでおり、ご家族のお心遣いも含めて感謝 の気持ちでいっぱいになりました。食事の後は、キリスト教に対してあまり知識を持たない私たちのために、小 さな子ども向けの絵本を読み聞かせていただき、Easter に関連する聖書の記述をみんなで読み、この日をお 祝いする意味を再確認することができました。



おいしいお料理、さらにデザートまで 用意していただき 感謝の気持ちでいっぱいです



ひとりひとりに与えられたパッセージを 聖書を開いてみんなで読み合いました



今月のレポートも最後までご覧いただきありがとうございました!左の写真は、3 月のある晴れた日に埼玉県へ留学していた友人が案内してくれた、フィンドレーと埼玉県・川口市の友好を記念したモニュメントです。残り少ない日々を大切にしながら、埼玉県を代表しているという初心を忘れずに過ごしていきます。

それでは、また来月のレポートでお会いしましょう!

*本プログラムや生活について、聞いてみたいことがありましたら
kawaharazukas@findlay.edu にお気軽にご連絡ください。私の経験が、みなさまの一助になれればと思います。報告書の感想もお待ちしています!